

**特別委員会活動報告
主要幹線街路等
建設促進**

11月29日に会議を開き、都市計画道路「沖の沢郡山線」及び国道113号小原地区歩道設置工事の進捗状況の報告を受けた。

都市計画道路「沖の沢郡山線」はじめに、平成22年度の事業予算は、平成22年1月に議会とともに要望活動を実施するなど予算確保に努めたところ、所要額満額の内示を受け、たことから、工事請負費2億4千740万円等を計上しているとの説明があった。



沖の沢郡山線現地調査の様子

また、本路線は、白石蔵王駅と一体的に広域交通ネットワークを図る主要幹線環状道路として、旧国道4号交差点を起点とし、整備済みの旭町を終点とする1千220メートルが、総事業費39億7千200万円

で事業が完了することとなり、現在、工期内完成を目指し施工管理の強化を図ると同時に年度末の全線開通に向け関係機関と協議をしているとの説明があった。

また、開通に伴う旧国道4号交差点への信号機の設置、本線に合流するアクセス道路の安全確保対策についての質疑に対し、信号機の設置については3年ほど前から公安委員会に要望しているが、予算の関係もあり現時点では開通までに設置できないとのことであり、早急な設置に向け今後とも強く要望して行くとともに、アクセス道路の安全確保対策については、道路標識の設置など、白石警察署や公安委員会と協議を進めているとの説明があった。

更に、今後の街路整備計画については、白石沖西堀線

最重要路線と位置づけ、街路事業の実現化を図りたいとの説明があった。

国道113号小原地区歩道設置工事平成22年度は、新町工区の施工延長82メートルにおいて、歩道の設置及び排水・舗装工事費等に総事業費8千117万5千円で工事が行われており、年度内に事業が完了する予定であるとの説明があった。

また、国道113号の新たな整備予定についての質疑に対し、小原1号トンネル手前、蔵本地区の整備を、国道113号整備促進期成同盟会等と連携しながら、宮城県に対し要望活動を行っているとの説明があった。



小原地区歩道設置工事の様子

臨時会

11月29日開催の第389回市議会臨時会において、次の議案が提案され、原案のとおり可決しました。

◎第63号議案 外国の地方公共団体の機関等に派遣される白石市職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例 **原案可決**

◎第64号議案 白石市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 **原案可決**

◎第65号議案 白石市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例 **原案可決**

◎第66号議案 白石市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 **原案可決**
前3議案は人事院勧告による国家公務員給与改定に準拠し、給与月額等を引き下げるために条例の一部改正するものです。

◎第67号議案 平成22年度白石市一般会計補正予算(第4

号) **原案可決**

農業施設災害復旧事業及び公共土木施設災害復旧事業による市道及び農道並びに水路・河川災害復旧工事等に関する経費を計上したものです。

◎議提第6号 白石市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 **原案可決**

人事院勧告により、公務員に支給される本年の給与及び期末手当等が減額されることから、議員の期末手当も減額しようとするものです。

議員報酬は人事院勧告に左右されるものではありませんが、昨今の経済状況を考えたとき、やはり議員も市民の代表であることを踏まえれば、市民目線で行動しなければならぬと考え、議員の期末手当を年間0.1月分減額しようとするものです。

またあわせて、現在実施している議員報酬及び期末手当を2.5%減額する措置を、議員報酬については、平成23年1月から2力年継続いたそうとするものです。